

大正15年4月2日から昭和2年4月1日までに生まれた88才を迎えられる方(140名)のご家庭や、町内の福祉施設を10月23日と24日に、町長が訪問しました。

体力にあわせて畑仕事や家事をこなしておられる方、施設で過ごされている方、生活スタイルはさまざまですが、どなたも素敵な笑顔を見せてくださいました。元気の秘訣は、趣味や運動など、生きがいと規則正しい生活を続けることのようにです。

牧佐知子さん(平)は、大山口列車空襲(当時19歳)のお話を、森田和年さん(梶原)は特別攻撃隊の生還者としてのお話をされ、今の日本の礎を築かれてきたことに敬服しました。

なお、この訪問に合わせて、今年度中に100才を迎えられる方(7名)に、町からの

祝詞と記念品、並びに内閣総理大臣からの祝状と記念品をお渡ししてご長寿をお祝いしました。

町内で100才以上の方は、平成26年10月31日現在で12人(男2人、女10人)、最高齢の方は106才です。みなさん、これからもご壮健でご家族の皆さまと楽しくお過ごしください。

これは、青少年育成鳥取県民会議が「青少年が心身ともに健やかに成長することは、大人全体の責任である」との認識のもとに、県民総ぐるみの青少年健全育成運動を毎年展開しており、今年は大山町で開催の運びとなりました。

名和中学校轟太鼓クラブのオープニング演奏で始まり、表彰式では、「青少年育成成功労者」として、清郷雅秋さん(坪田2区)が受賞されました。続く、元気な青少年のステージでは、中山公民館箏教室の中・高校生3人が箏の演奏を堂々と発表しました。

講演会では、子ども未来ネットワーキング理事の中井浩さんが「携帯・スマホの付きあい方、保護者の理解が子どもたちを守る」と題して講演されました。子どもたちをネット社会の危険から守るため、「ペアレンタルコントロール」「フィルタリング」の重要性を話され、いつでも相談できる家族関係を作ることの大切さを学習しました。



## 米寿&百寿

# おめでとう ございます



▲「大山やすらぎの里」で家族や職員のみなさんに囲まれて



▲谷野加智江さん(中央)



▲内閣総理大臣からの祝状を受取られた鹿島ます彗さん(中)



▲國谷薫さん(右)と美智恵さん(左)

## 第48回青少年育成鳥取県民大会

大山町で開催!

第48回青少年育成鳥取県民大会が、10月19日に保健福祉センターなわで開かれました。



▶青少年育成成功労者表彰を受賞された清郷さん(中央)